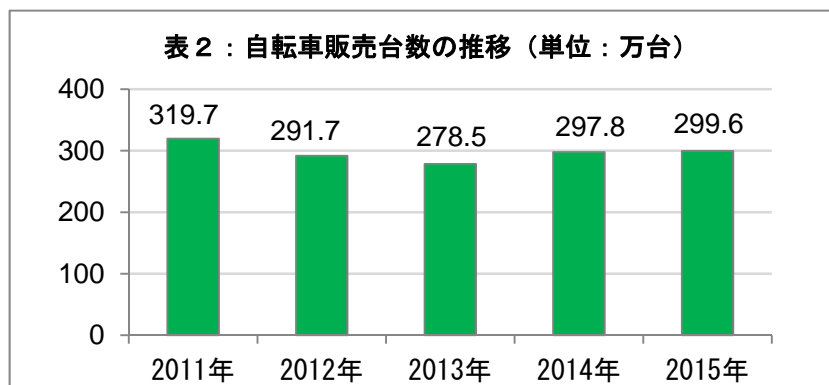
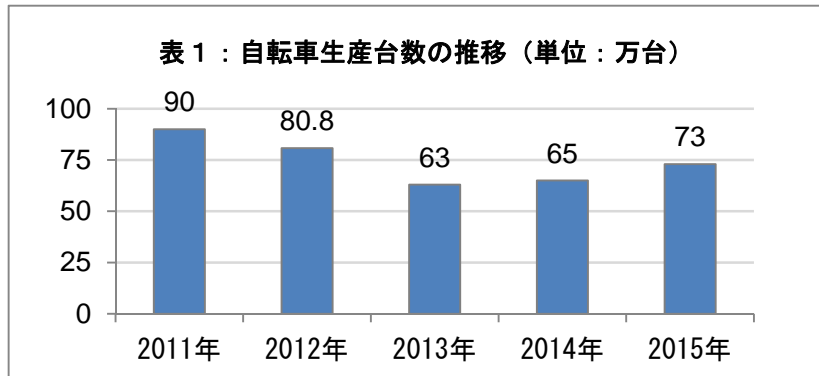
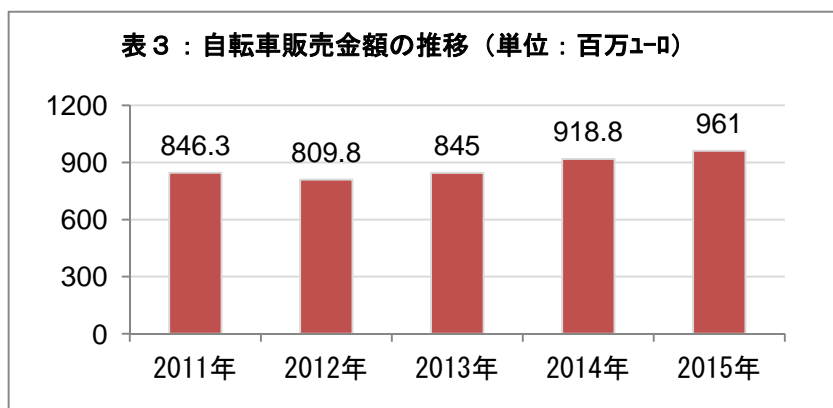


フランス自転車市況－2015

1. 生産及び販売

フランス自転車産業協会 (UNIVEL0) によると、2015 年フランスの自転車生産台数は前年比 12.3% 増の 73 万台となり、2 年続けて増加した。2015 年の自転車販売台数は同比 0.6% 増の 299.6 万台となり、前年よりわずかに増加した。2015 年の自転車販売金額は前年比 4.6% 増の 961 百万ユーロ (1,105 億円) であり、3 年続けての増加となり、更に部品・付属品 (P&A) の販売金額は前年比 4.6% 増の 728.9 百万ユーロ (838 億円) となった。2015 年のフランス自転車市場は、生産、販売台数・金額が総じて前年より増加し、復調の兆しを見せたといわれた前年 2014 年を上回る結果となった。





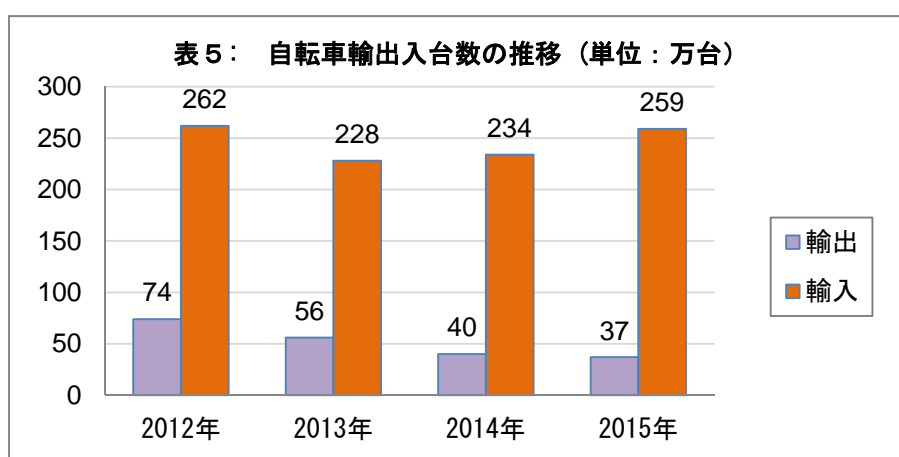
2015年の全車種の自転車平均販売価格は、前年より14ユーロ(1,610円)高い、前年比4.6%上昇の321ユーロ(36,915円)となり、5年続けて上昇した。平均販売価格が年々上昇を続ける主な要因は、フランスでも価格の高い電動アシスト自転車(EPAC)の販売が増えているためとみられる。

表 4：平均販売価格の推移（単位：ユーロ）

年	2011	2012	2013	2014	2015
平均販売価格	265	278	303	307	321

2. 輸出入

EPACを含む全ての自転車の輸出入について、2015年の輸出台数は前年比7.5%減の37万台となり、ここ数年は減少が続いている。一方、2015年の輸出台数は同比10.7%増の259万台と2ケタの増加率を見せ、2年続けての増加となった。



※上記数値にはEPACを含む

EPACを除く自転車の国別輸出台数で見ると、輸出先の9割近くは欧州向けである。2012～2014年の間、最多輸出先であったスペイン向け輸出は、前年比25.7%減の5.5万台に落ち込

み、それと入れ替わりでベルギー向けが同比 4.1%増の 7.7 万台となり 2015 年の最多輸出先となった。その他の欧州向け輸出では、イタリアが同比 33.9%減の 4.3 万台、英国は同比 15%減の 1.7 万台及びオランダは同比 33.3%減の 1.2 万台等と落ち込みを見せたが、ポーランドは前年比 18.8%増の 1.9 万台、ハンガリーは同比 42.9%増の 1 万台等と増加した。

国別上位の輸出単価については、西欧地域のドイツ向けが 389 ユーロ (44,735 円)、英国向け 397 ユーロ (45,655 円) 及びオランダ向け 324 ユーロ (37,260 円) 等が高額であるが、その他は概ね 200 ユーロ (23,000 円) 前後に収まる。更にポーランドは 120 ユーロ (13,800 円)、ハンガリーは 91 ユーロ (10,465 円) と安価であり、2015 年 10 位となった日本向け輸出単価はわずか 35 ユーロ (4,025 円) であった。

EPAC を除く国別輸入台数では輸入の 8 割強は欧州地域からであり、残り 1 割余りがアジア地域である。最多輸入先のイタリアは前年比 5.2%減の 76.4 万台と、ここ数年減少が続いているが、他の欧州地域は、ブルガリアが前年より倍増の 37.5 万と大きく増加したほかは、概ね 1 割前後の増加にとどまった。アジア地域からの輸入は、前年一気に 4 位に浮上したパキスタンは同比 71.7%減の 4.5 万と大幅に減少し、前年に半減したスリランカは 2015 年には再び倍増し 9.6 万台となる等、アジア地域における輸入先は 2015 年もはげしい変動がみられた。

表6:輸出台数上位 10 カ国の推移 (単位:千台)

2012 年		2013 年		2014 年		2015 年	
国名	台数	国名	台数	国名	台数	国名	台数
スペイン	245	スペイン	131	スペイン	92	ベルギー	77
イタリア	133	イタリア	98	ベルギー	74	スペイン	55
ベルギー	103	ベルギー	90	イタリア	65	イタリア	43
英国	55	英国	60	英国	20	ドイツ	35
ポーランド	39	ドイツ	28	ドイツ	20	ポーランド	19
ドイツ	36	ポーランド	21	オランダ	18	英国	17
スウェーデン	29	オランダ	19	ポーランド	16	オランダ	12
オランダ	17	ハンガリー	13	ポルトガル	7	ハンガリー	10
ハンガリー	14	ポルトガル	10	ハンガリー	7	日本	10
ポルトガル	11	モロッコ	6	米国	6	ポルトガル	7

※上記数値には EPAC を含まない

表7: 輸入台数上位 10 カ国の推移 (単位: 千台)

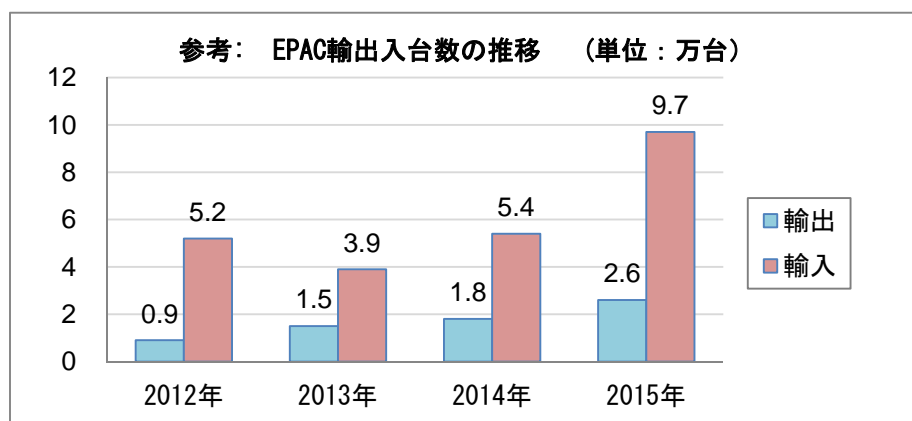
2012 年		2013 年		2014 年		2015 年	
国名	台数	国名	台数	国名	台数	国名	台数
イタリア	863	イタリア	855	イタリア	807	イタリア	764
ポルトガル	499	ポルトガル	451	ポルトガル	514	ポルトガル	552
ブルガリア	254	ブルガリア	152	ルーマニア	193	ブルガリア	375
スリランカ	187	カンボジア	135	パキスタン	159	ルーマニア	214
台湾	166	ルーマニア	134	ブルガリア	149	スリランカ	96
シエラレオネ	99	スリランカ	108	台湾	66	フィリピン	73
スペイン	90	台湾	79	フィリピン	58	台湾	71
ドイツ	89	ドイツ	53	ドイツ	57	ドイツ	62
ルーマニア	56	スペイン	51	スリランカ	44	オランダ	49
タイ	51	フィリピン	49	オランダ	41	パキスタン	45

※上記数値には EPAC を含まない

EPAC だけの輸出入で見ると、2015 年の EPAC 輸出台数は前年比 44.4% 増の 2.6 万台と、例年より高い伸びを見せた。EPAC 輸入台数は同比 79.6% 増の 9.7 万台となり大幅に増加した。EPAC の輸出台数は増加したものの、輸出単価は同比 29.7% マイナスの 649 ユーロ (74,635 円) に下落し、輸入単価も同比 17.9% マイナスの 443 ユーロ (50,945 円) と、輸出入単価は共に下がった。

国別輸出では 9 割以上が欧州向けであり、スウェーデン向けが 7.1 千台で最多となり、昨年より 5 千台も増加した。次いでベルギー向けが 4.1 千台、イタリア向け 3.2 千台及びスペイン向け 2.4 千台である。EPAC の輸出単価で見ると、ドイツ向けが 1,398 ユーロ (160,770 円) 及びスイスが 1,553 ユーロ (178,595 円) と一際高額であるが、輸出台数上位のスウェーデン、ベルギー及びイタリアは 400~700 ユーロ (46,000~80,500 円) の価格帯に概ね収まっている。

EPAC 輸入台数はアジア地域から 7 割、欧州から 2 割強となった。かつてはアジア地域からの輸入が殆どであったが、最近では欧州からの輸入が 2 割程度を占めている。しかし、国別では依然として最多輸入先は中国であり、前年より 6 割増しの 6.7 万台となった。中国 1 カ国だけで全輸入の 7 割を占める。次いでオランダは前年 837 台から一気に 1.2 万台に急増し、台湾は前年 1.4 千台から 6.7 千台に増加したのに対し、ドイツからは前年 7 千台から 4 千台に減少した。



3. 業態別販売動向

Decathlon 等の大型販売店・大型スポーツ店は、半数を超える販売台数シェアを占めているとみられる。しかしながら、販売業態別シェアを販売金額ベースでみれば、大型販売店・大型スポーツ店は 2015 年には前年同様の 34%であり、自転車小売専門店も前年同様の 43%となった。スーパーマーケット等の量販は前年より 1 ポイント減の 7%となり減少傾向が続いている一方、インターネット・通販は前年より 1 ポイント増の 16%となり、着実にシェアを伸ばしている。

自転車総販売金額が 2014 年の 918.9 百万ユーロから 2015 年の 961 百万ユーロへと 4.6%増加したことを踏まえた上で、各業態別販売について前年の増減率をみると、今回、最も成長したのは P&A のネットショップ販売が増えているインターネット・通販であり、前年比 8.5%増となった。更に自転車小売専門店が同比 6%増、大型スポーツ店等は同比 4.1%増となったのに対して、量販は同比 7%減と不調であった。

表 8：販売業態別シェアの推移（販売金額ベース）

販売形態	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年
大型販売店、大型スポーツ店	38.5%	36.5%	33.0%	34.0%	34.0%
自転車小売専門店	51.5%	54.0%	45.0%	43.0%	43.0%
スーパーマーケット等、量販	10.0%	9.5%	8.0%	8.0%	7.0%
インターネット、通販			14.0%	15.0%	16.0%

※2013 年より「インターネット、通販」の項目追加

4. 車種別販売動向

2015 年の車種別販売については、主にレジャー用に分類される車種は総じて好調であった。車種別では大人向けマウンテンバイク (MTB) が依然として最多販売車種であり、販売台数は前年比 5%増の 86.3 万台となった。その一方で、子供車 (20/24 インチ) は同比 1.3%減、子供車 (その他) は同比 6.4%減及び BMX は同比 4.9%減となり、子供向け車種の販売は不調であった。

2015 年の EPAC の販売台数は同比 31.6%増の 10.2 万台となり、昨年に引き続き高い伸び率

を見せた。EPAC 販売台数はついに 10 万台の大台を突破し、一年間だけで 2 万台余りも増加した。そして、2015 年の EPAC の平均販売価格は前年比 12.4%上昇の 995 ユーロ (114,425 円) となった。

2015 年の EPAC 販売台数と平均販売価格は共に引き続き上昇していることから、現在の EPAC 販売は、自転車小売専門店の扱う高額商品が中心であるとも考えられ、UNIVEL0 はフランスの EPAC ブームがいよいよ本格化し、更なる成長に繋がることに期待している。また、現在、ドイツを中心に人気が高まる電動マウンテンバイク (e-MTB) についても、元々 MTB 人気の高い仏市場でどこまで普及するのか、EPAC ブームの動向を見極める上で併せて注目したい。

表 9: 電動アシスト自転車販売台数の推移 (単位:台)

年	2011	2012	2013	2014	2015
販売台数	40,000	46,100	56,600	77,500	102,000

以 上

統計出所： フランス自転車産業協会 (UNIVEL0)